SONY

3-248-529-**05** (1)

ポータブルメモリースティックオーディオプレーヤー

Network Walkman

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みの
うえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、
いつでも見られるところに必ず保管してください。

WALKMAN

“ウォークマン”、“WALKMAN” はヘッドホンステレオ商品を表す
ソニー株式会社の登録商標です。
WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。

MEMORY STICK ™　MEMORY STICK DUO　MAGICGATE

NW-MS70D/MS90D/MS77DR

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、
火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部分とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



❶ ACパワーアダプターを使用中の場合は、コンセントから抜く
❷ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電


破裂

行為を禁止する記号


接触禁止


禁止


分解禁止


ぬれ手禁止

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- □ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

- OpenMG およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- SonicStage およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）は、ソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick”（“メモリースティック”）および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick Duo”（“メモリースティック　デュオ”）および MEMORY STICK DUO は、ソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate”（“マジックゲート”）および MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次

基本的な使いかた

進んだ使いかた

この取扱説明書では、ネットワークウォークマン本体の操作について説明しています。付属の SonicStageソフトウェアについては別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

本体の設定を変える

その他の機能

その他

危険

火災　破裂

この製品はニッケル水素充電式電池を内蔵しています。
漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

充電するときおよび家庭用電源で使用するときは、必ず指定のACパワーアダプターとUSBクレードルを使用してください。
破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

禁止

火の中に入れない

禁止

分解しない

感電の原因となります。充電池の交換、内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。
ただし、廃棄時には48ページの手順に従って内蔵の充電池を取りはずし、リサイクルにご協力ください。

分解禁止



火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない

禁止

USBクレードルにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない

USBクレードルの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

禁止

充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談下さい。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けて下さい。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談して下さい。

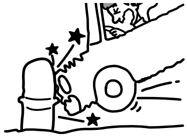
⚠警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

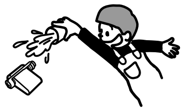




禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、ACアダプター、USBケーブルをUSBクレードルから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

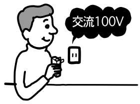




禁止

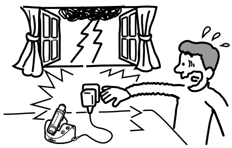
海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。





接触禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。





ぬれ手禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。





禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



禁止

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

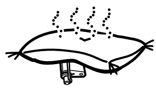
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

本体やUSBクレードル、あるいはACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



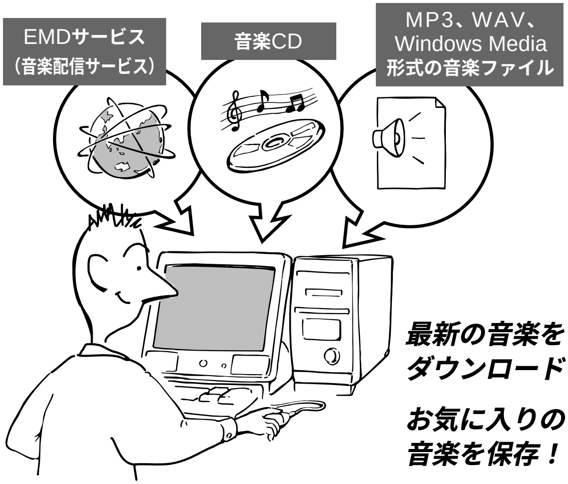


禁止

こんなことができます

最初に付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールします。パソコンのハードディスクに保存した音楽データを本機内蔵のフラッシュメモリー、またはマジックゲート 対応“メモリースティック　デュオ”（別売り）に転送することで、お好みの音楽データを手軽に持ち運んで楽しめます。

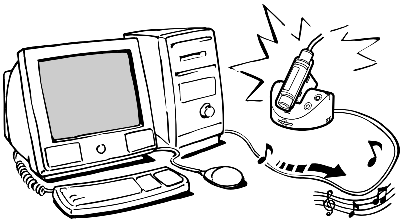
1 パソコンに音楽を保存



最新の音楽をダウンロード！

お気に入りの音楽を保存！

2 ネットワークウォークマンに転送



USBで接続

3 音楽を持ち出して聞こう！



本機の主な特長

- **小型軽量サイズで、振動にも強く、優れた携帯性。**
- **充電式ニッケル水素電池で約44時間*1の連続再生。**
- **内蔵フラッシュメモリー／マジックゲート対応 “メモリースティック　デュオ”（別売り）*2対応のハイブリッドドライブ構成。**
- NW-MS70D/MS77DR: 256MB**の内蔵フラッシュメモリーに11時間以上*3の音楽データの記録が可能。**
- NW-MS90D: 512MB**の内蔵フラッシュメモリーに23時間以上*3の音楽データの記録が可能。**
- **付属の専用ソフトウェアSonicStageを使って、録音クレードルで録音したデータのパソコンへの取り込みが可能（NW-MS77DR）、また音楽CDを高音質・高圧縮のATRAC3plus形式でパソコンのハードディスクに録音。**
- **パソコンと本体は専用USBケーブルとUSBクレードルで接続、データを高速転送。**
- **漢字も表示できるバックライト付き液晶ディスプレイ。**
  パソコンで入力した曲名などを漢字でも表示可能。
- **アルバム単位で再生する曲を選べるグループ機能。**
- **音楽以外のデータも記録可能なストレージ機能。**
- NW-MS77DR: **録音クレードルを使って、パソコンを介さずに音楽CDなどの録音*4が可能。**

*1 再生する曲のデータ形式により異なります。ATRAC3形式で記録された曲を再生した場合。
*2 2つの著作権保護技術「MagicGate（マジックゲート）」と「OpenMG（オープンエムジー）」の搭載により、著作権者の意思に沿った音楽データの記録・再生が可能です。
*3 記録時のビットレートにより異なります。ATRAC3plus形式で48kbpsで記録した場合。
*4 ATRAC3plus 64/48kbpsで録音が可能です。

ご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

次ページへつづく

“メモリースティック”について

“メモリースティック”とは？

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“メモリースティック”の大きさ

“メモリースティック” には、標準サイズのものとその小型サイズの“メモリースティック　デュオ”があります。“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ アダプターに入れると、標準サイズの“メモリースティック”と同じサイズになり、標準サイズの“メモリースティック”対応機器でもお使いいただけます。本機でご使用になれるのは小型サイズの“メモリースティック　デュオ”になります。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック” には、用途に応じて以下の5種類があります。本機ではマジックゲート対応“メモリースティック　デュオ”のみ使用可能です。＊

①「メモリースティック PRO」
「メモリースティック PRO」対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した「メモリースティック」です。

②「メモリースティック-R」
いったん記録されたデータが上書きされない「メモリースティック」です。「メモリースティック-R」対応機器でのみデータを記録できます。著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータは記録できません。

③「メモリースティック」
著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる「メモリースティック」です。

④「マジックゲート メモリースティック」
著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した「メモリースティック」です。

⑤「メモリースティック ROM」
あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の「メモリースティック」です。データの記録や消去はできません。

＊ 本機を著作権保護されていないデータ読み書きの用途で使用する場合は“ メモリースティック ”も使用できます。

MagicGate（マジックゲート）とは？

マジックゲートは、“MG メモリースティック”と対応機器（本機など）に搭載している著作権保護技術です。対応機器と“MG メモリースティック”の間でお互いが著作権保護に対応しているかどうかを判断する認証と、データの暗号化を行います。認証された機器以外では、著作権のあるデータは再生できません。

本機で“メモリースティック”（別売り）をお使いになるときは

「マジックゲート対応“ メモリースティック　デュオ ”」をお買い求めください。

本機には“メモリースティック”が付属されていません。“メモリースティック”には数種類あり、本機でお使いいただけるのは小型サイズで著作権保護技術（MagicGate）搭載の「マジックゲート対応“ メモリースティック　デュオ ”」のみです。

ご購入の際は、MAGICGATE ロゴと MEMORY STICK DUO ロゴのついたマジックゲート対応“メモリースティック　デュオ”をお買い求めください。

ご注意

本機で対応しているマジックゲート対応 “メモリースティック　デュオ”の容量は128MBまでです。

“メモリースティック　デュオ”使用上のご注意

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック　デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  – 読み込み中や書き込み中に本体をUSBクレードルからはずしたり、専用USBケーブルを抜いた場合。
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

フォーマット（初期化）についてのご注意

“メモリースティック　デュオ”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。フォーマット（初期化）が必要な場合は必ず“メモリースティック”専用機器で行ってください。Windowsエクスプローラで初期化すると、FORMAT ERROR（54ページ）になり、本機で音楽を再生できません。Windows XPでは、正しいフォーマットが可能です。 必ず、以下のいずれかの方法でフォーマットしてください。

- 46ページ「メモリーを初期化する」の方法でフォーマットを行う。
- 付属のSonicStageソフトウェアを使ってフォーマットを行う。
  SonicStageでのフォーマットの方法はSonicStageのオンラインヘルプをご覧ください。

Windowsのエクスプローラでの表示について

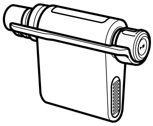
専用USBケーブルでネットワークウォークマンをパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラの外部ドライブ（Dドライブなど）として、内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック”に記録されたデータを表示することができます。

- SonicStageから転送したデータや、デジタル機器またはアナログ機器を直接つないで録音した曲データ（NW-MS77DRのみ）は、「HIFI」というフォルダにまとまって入っています。
  HIFIフォルダはエクスプローラ上で編集しないでください。エクスプローラ上で、コピーや編集をしたデータは、再生できません。
- 本機以外の“メモリースティック”対応機器で記録したデータ（JPEG、MPEGなど）が入っている場合は、それらもエクスプローラで表示できます。
  HIFIフォルダ以外のデータの取り扱いについては、それぞれを記録した機器の取扱説明書をご覧ください。

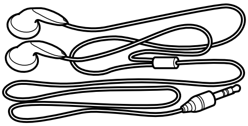
準備1：付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

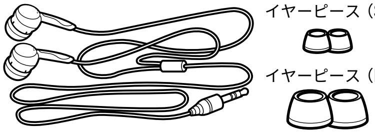
- ネットワークウォークマン本体（1）



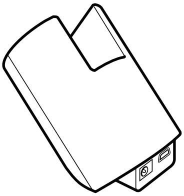
- ヘッドホン（1）
 NW-MS70D/MS77DR:



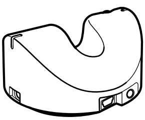
NW-MS90D:



- USBクレードル（1）
 NW-MS70D/MS90D:

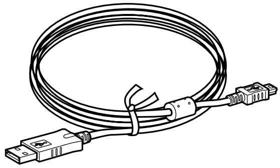


NW-MS77DR:



（録音USBクレードル）

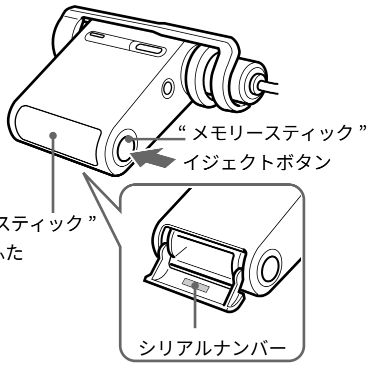
- 専用USB接続ケーブル（1）



- ACパワーアダプター（付属USBクレードル用）（1）
- キャリングポーチ（1）
- ネックストラップ（1）
- ヘッドホン延長コード（1）
- CD-ROM（1）
- 取扱説明書（1）
- ソフトウェアインストール・操作ガイド（1）
- 保証書（1）
- カスタマーご登録のお願い（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは“メモリースティック”挿入口のふたの内側に印刷されています。
“メモリースティック”イジェクトボタンを押し、“メモリースティック”挿入口のふたを開いてご確認ください。



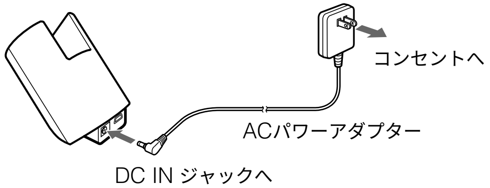
準備2：充電式電池を充電する

お買い上げ時には、まず本体内蔵の充電式電池を充電してください。
下記のようにACパワーアダプターを接続します。USBクレードル、または録音USBクレードルに置いた状態では、再生を含む本体操作を行うことはできません。

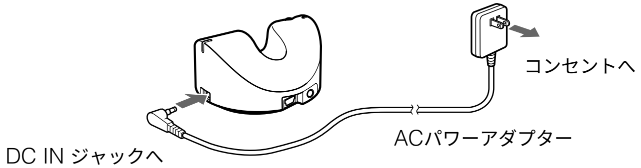
1 ACパワーアダプターをつなぐ

付属のACパワーアダプターをUSBクレードル、または録音USBクレードルのDC INジャックにつないでから、もう一方をコンセントにさしこみます。

NW-MS70D/MS90Dの場合：



NW-MS77DRの場合：



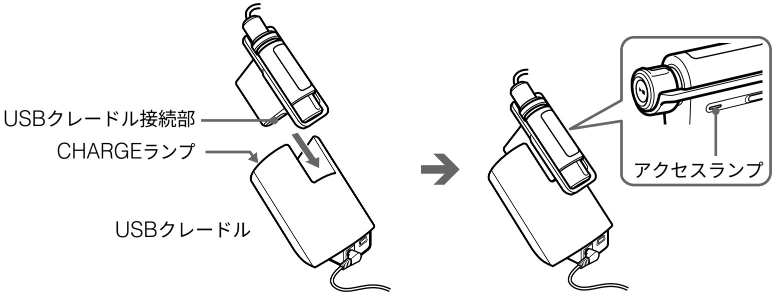
次ページへつづく

2 本体をUSBクレードル、または録音USBクレードルに取り付ける

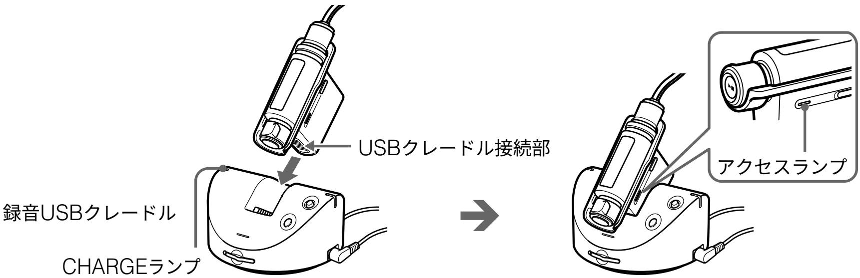
ご注意

必ずイラストの矢印の向きに取り付けてください。

NW-MS70D/MS90Dの場合：



NW-MS77DRの場合：



USBクレードル、または録音USBクレードルのCHARGEランプが点灯し、充電が始まります。
充電時間は約90分*です。充電が完了すると、CHARGEランプが消えます。
充電はなるべく、30分以上連続して行ってください。 本機では電池を保護するため最初の15分間は電池状態のチェックを行い、その後で急速充電を開始します。

* 室温で の状態から電池を充電したときのめやすです。電池の残量により、充電時間は短くなります。また、充電時の温度が低い場合は充電時間は長くなります。

ご注意

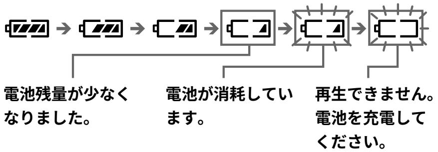
- 充電は周囲の温度が0～35°Cの環境で行ってください。
- 充電中は再生できません。

電池の持続時間（連続再生時）

ATRAC3形式の場合：約44時間
ATRAC3plus形式の場合：約36時間

電池残量の表示について

ご使用中、表示窓（16ページ）の電池残量表示でお知らせします。

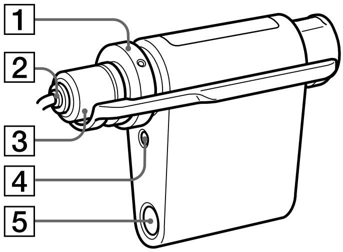


各部のなまえ

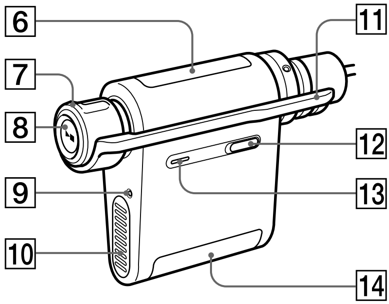
（　）内のページに詳しい説明があります。

本体

表面



裏面



1 **VOL（ボリューム）（+/−）つまみ**
（25、36ページ）

2 **ヘッドホンプラグ**
（27ページ）

3 **プラグカバー**（27〜28ページ）

4 **SOUND/AVLS（サウンド／エーブイエルエス）ボタン**
（32、36ページ）

5 **“メモリースティック”イジェクトボタン**
（17、21、26ページ）

6 **表示部**（16、29、54〜56ページ）
表示部の表示窓、アイコンの名前は、16ページをご覧ください。

7 **シャトルスイッチ**
（26、29〜46ページ）

8 **再生／停止ボタン**
（25〜26、29〜46ページ）

9 **RESET（リセット）ボタン**（49ページ）

10 **USBクレードル接続部**
（14、19、22ページ）

11 **HOLD（ホールド）（誤操作防止）スイッチ**
（33ページ）

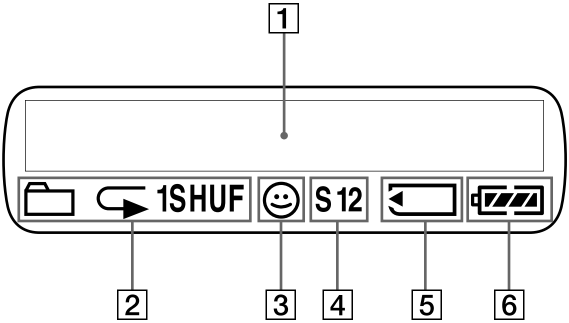
12 **MENU（メニュー）ボタン**
（29〜46、61ページ）
長押しで時計表示になります。

13 **アクセスランプ**
（19ページ）

14 **“メモリースティック”挿入口**
（17、21、26ページ）

次ページへつづく

表示部



1 文字情報／グラフィック液晶表示窓（29ページ）
曲番号やタイトルなどの表示や、時計表示（29〜35ページ）、エラー表示（20ページ、54〜56ページ）、メニュー表示などを表示します。再生・停止中の表示内容はメニューの「DISPLAY」で切り換えられます。詳しくは、「表示モードを切り換える」（30ページ）をご覧ください。
録音時の表示内容については、「ネットワークウォークマンに録音する」（21〜23ページ）をご覧ください。

2 再生モード表示（29ページ）
現在の再生モードのアイコンが表示されます。

3 AVLS（エーブイエルエス）表示（36ページ）
AVLS（音量リミット）が設定されている場合に表示されます。

4 デジタルサウンドプリセット表示（32〜33ページ）
デジタルサウンドプリセットが設定されている場合に表示されます。

5 "メモリースティック" 表示（17、21ページ）
"メモリースティック"（別売り）が本体に挿入されているときに、表示されます。

6 電池残量表示（14ページ）
現在の電池残量が表示されます。

パソコンからネットワークウォークマンに音楽を転送する

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは
接続前に、必ず付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールしてください。すでにSonicStageがインストールされている場合でも、必ず「SonicStageソフトウェア」をインストールしてから本機をパソコンに接続してください。（アップデートプログラムが入っている場合があります。）

1 付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールする

手順1は、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。
詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

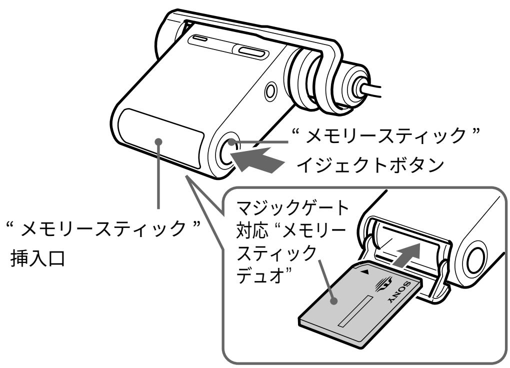
2 SonicStageに音楽データを取り込む

詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

3 転送先を準備する

マジックゲート対応 "メモリースティック　デュオ"（別売り）を本機に挿入します*。
"メモリースティック"が挿入されているときは、本体の表示窓に ▭ が点灯します。

* 本機は内蔵フラッシュメモリーが256MB (NW-MS70D/MS77DR)/512MB (NW-MS90D) 搭載されており、本機だけでもお使いになれます。"メモリースティック"をお使いにならない場合は、手順3を飛ばして手順4へお進みください。



ご注意

- パソコンと接続してお使いになるときは、"メモリースティック"の誤消去防止スイッチ（47ページ）の「LOCK」を解除してください。
- "メモリースティック"は「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- "メモリースティック"の取り出しについては26ページをご覧ください。
- メモリースティック表面にラベル等のシールを貼らないでください。取り出せなくなる場合があります。

次ページへつづく

4 ネットワークウォークマンをパソコンに接続する

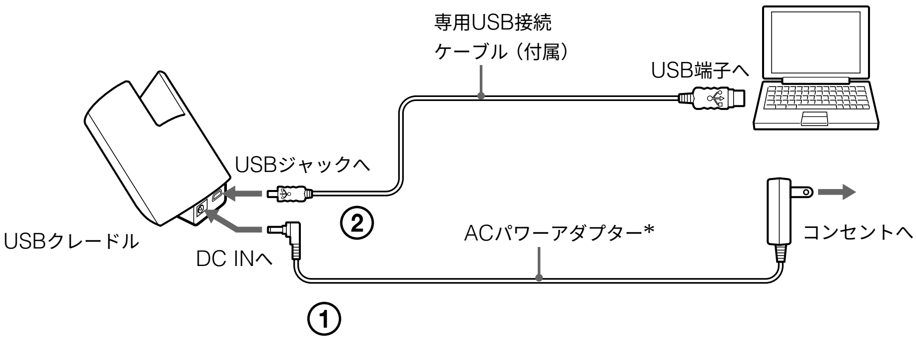
① ACパワーアダプターをつなぐ*。

付属のACパワーアダプターをUSBクレードル、または録音USBクレードルのDC INジャックに差し込んでからコンセントにつなぎます。

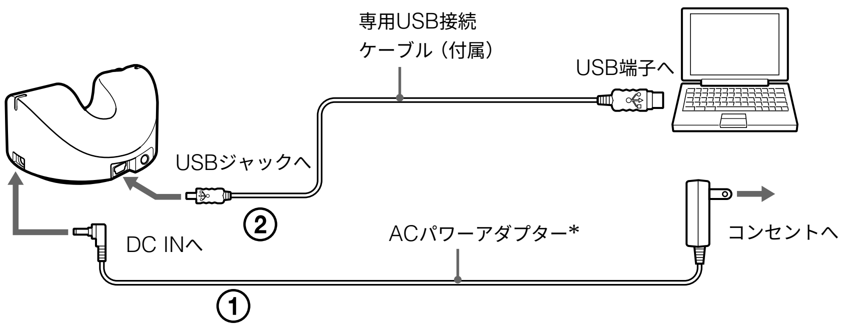
② USBクレードル、または録音USBクレードルとパソコンをつなぐ。

付属の専用USB接続ケーブルの小さいほうのコネクタ部分をUSBクレードル、または録音USBクレードルのUSBジャックに、大きいほうのコネクタ部分をパソコンのUSB端子に差し込みます。

NW-MS70D/90Dの場合：



NW-MS77DRの場合：



* ACパワーアダプターを接続しないで充電することもできます。 はじめにUSBクレードル、または録音USBクレードルとパソコンをつなぎます（②）。メニューからUSB CHG「ON」を選び（45ページ）、本体をUSBクレードル、または録音USBクレードルに取り付けると、パソコンから充電ができます。ただし、パソコンの電源が入っていないと充電が行われないため、通常はACパワーアダプターをつないで充電してください。

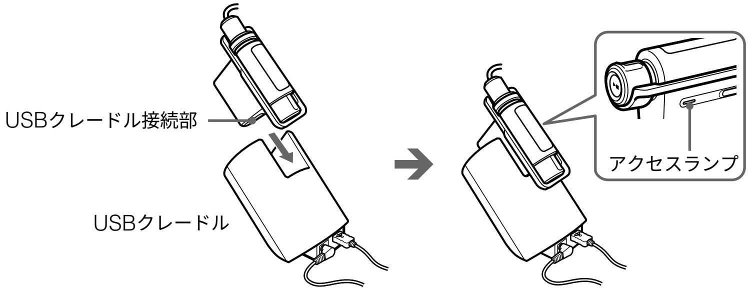
③ 本体をUSBクレードル、または録音USBクレードルに取り付ける。

本機の表示窓に「CONNECT」と表示されます。また、パソコンとのデータ通信中はアクセスランプが点滅します。

ご注意

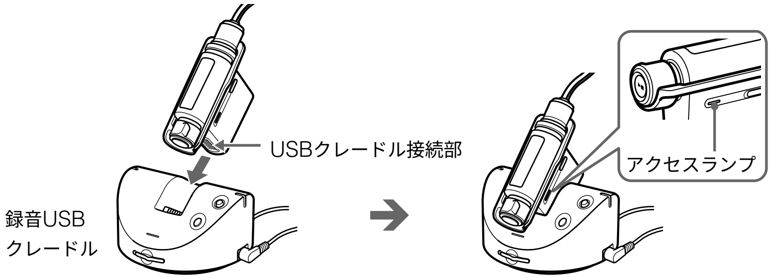
必ずイラストの矢印の向きに取り付けてください。

NW-MS70D/90Dの場合：



NW-MS77DRの場合：

録音USBクレードルの録音選択スイッチをUSB側にします。（詳しくは20ページの手順5をご覧ください。）



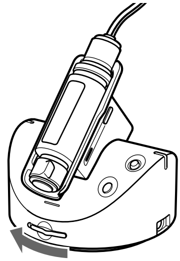
ご注意

- 本機とパソコンのデータ転送中はアクセスランプが点滅します。
- アクセスランプの点滅中はUSBケーブルを抜いたり、本体をUSBクレードル、または録音USBクレードルからはずさないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。本体で再生中にパソコンにつないだUSBクレードル、または録音USBクレードルに取り付けると、再生は止まり、表示窓に「CONNECT」と表示されます。
- パソコンに接続した本機のメモリーの内容はWindowsのエクスプローラでも表示できます。ただし、“メモリースティック”を入れている場合は“メモリースティック”の内容が表示され、入れてない場合は内蔵フラッシュメモリーの内容が表示されます。

次ページへつづく

5 録音選択スイッチを切り換える（NW-MS77DRのみ）

録音USBクレードルの録音選択スイッチをUSB側にします。



6 ネットワークウォークマンに音楽データを転送する

本体内蔵フラッシュメモリーに音楽データを転送するとき、または本機に挿入したマジックゲート対応 “メモリースティック　デュオ”（別売り）に音楽データを転送するとき、いずれの場合も操作方法は別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

ヒント

転送した音楽データをパソコンに戻す方法についても、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」もしくはSonicStageのオンラインヘルプをご覧ください。

再生期限付きの曲（タイムアウトコンテンツ）の再生について

インターネットの音楽配信サービス（EMDサービス）には、再生期限がついているものがあります。

期限切れ後にその曲を再生しようとすると、「EXPIRED」が点滅し、しばらくすると次の曲が再生されます。

再生期限が過ぎた曲は、SonicStage上でも再生はできません。また、本機への転送もできません。必要に応じて曲を削除してください。

回数制限付きの曲の再生について

本機は回数制限付きコンテンツに対応しておりません。

回数制限の権利が残っていた場合でも、「EXPIRED」が点滅し、本機での再生はできません。

ネットワークウォークマンに録音する（NW-MS77DRのみ）

光デジタルケーブル（別売り）を使ってつないだデジタル機器（CDプレーヤーなど）、または接続コード（別売り）を使ってつないだアナログ機器（カセットテープなど）から、パソコンを介さずに本機に録音できます。録音ケーブルや接続コードについて、詳しくは「別売りアクセサリー」（58ページ）をご覧ください。

ご注意

光デジタルケーブルを使ってつないだデジタル機器からの録音は、サンプリング周波数が44.1kHzの音源（CDやMDなど）にのみ対応しています。それ以外のサンプリング周波数の音源を録音する場合は、録音ケーブルをLINE OUT端子などにつなぎ、アナログ録音を行ってください。

1 録音先を準備する

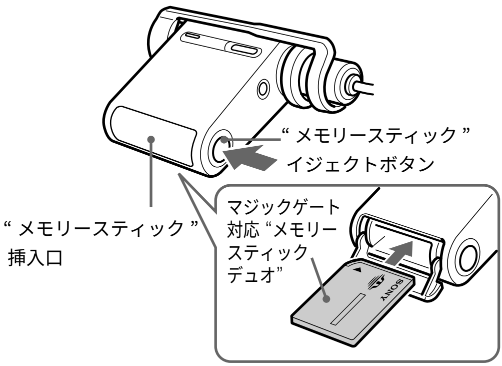
内蔵フラッシュメモリーに録音する場合：

本機から“ メモリースティック ”を取り出します。（本機に“ メモリースティック ”が挿入されていると、録音先は“ メモリースティック ”になってしまいます。）“ メモリースティック ”の取り出しについては26ページをご覧ください。

“ メモリースティック ”に録音する場合：

マジックゲート対応“ メモリースティック　デュオ ”（別売り）を本機に挿入します。

“ メモリースティック ”が挿入されているときは、本体の表示窓に ▭ が点灯します。



ご注意

- “ メモリースティック ”をお使いになるときは、“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチ（47ページ）の「LOCK」を解除してください。
- “ メモリースティック ”は「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- メモリースティック表面にラベル等のシールを貼らないでください。取り出せなくなる場合があります。

次ページへつづく

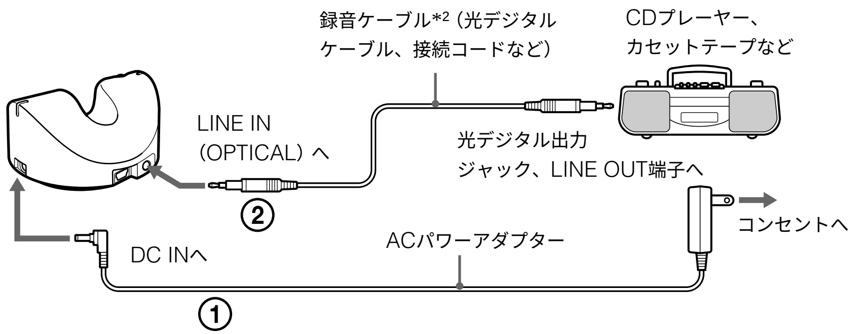
2 ネットワークウォークマンとデジタル／アナログ機器を接続する

① ACパワーアダプターをつなぐ。

付属のACパワーアダプターを録音USBクレードルのDC INジャックに差し込んでからコンセントにつなぎます。

② 録音USBクレードルとデジタル／アナログ機器をつなぐ。

録音ケーブルを録音USBクレードルのLINE IN（OPTICAL）に差し込んでから、デジタル機器の光デジタル出力ジャック*1へつなぎます。



*1 アナログ機器の場合は、LINE OUT端子などへつないでください。
*2 録音ケーブル（光デジタルケーブル、接続コードなど）について詳しくは、「別売りアクセサリー」（58ページ）をご覧ください。

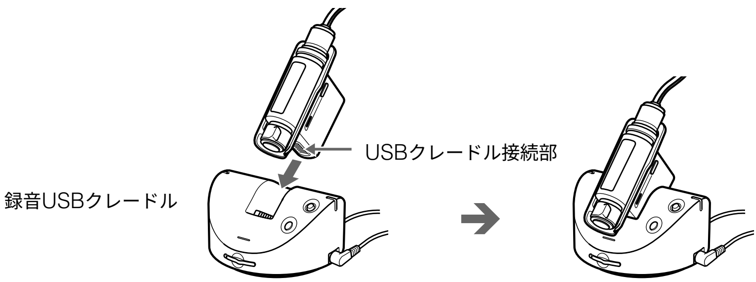
ご注意

録音中は電池の充電が行われません。録音前に、あらかじめ充電を行ってください。

③ 本体を録音USBクレードルに取り付ける。

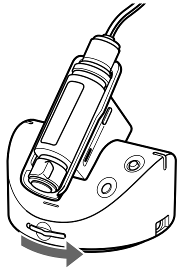
ご注意

必ずイラストの矢印の向きに取り付けてください。



3 録音選択スイッチを切り換える

録音USBクレードルの録音選択スイッチをLINE IN（光入力）側にします。



録音選択スイッチ

4 録音する

シンクロ録音無効時

① 録音したいCDなどを一時停止にする。

② 録音USBクレードルのREC/PAUSEボタンを押す。
録音USBクレードルの録音LEDが点灯し、録音が始まります。本体の表示窓の左側にはRECアイコンが表示され、右側は曲名*が表示された後、残り録音可能時間（残量カウンター）に表示が切り換わります。

③ 録音したいCDなどの再生を始める。

シンクロ録音有効時

① 録音USBクレードルのREC/PAUSEボタンを押す。
録音USBクレードルの録音LEDが点滅して録音待機状態になります。本体の表示窓には、RECアイコン、シンクロ録音を表すアイコン、録音時のビットレートまたは残り録音可能時間が点滅します。

② 録音したいCDなどを再生する。
曲の再生が始まると、録音USBクレードルの録音LEDが点灯し、録音が始まります。本体の表示窓には、曲名*が表示された後、残り録音可能時間（残量カウンター）に表示が切り換わります。

* 曲名は「GxxxTxxx」（グループ番号＋曲番）になります。

録音を止めるには

録音USBクレードルのSTOPボタンを押します。

録音を一時停止するには

録音USBクレードルのREC/PAUSEボタンを押します。一時停止中は、録音LEDが点滅します。もう一度REC/PAUSEボタンを押すと、録音が再開されます。

ヒント
シンクロ録音有効／無効を設定するには、「シンクロ録音設定を変更する」（40ページ）をご覧ください。

ご注意
- シンクロ録音は、光デジタルケーブルを使ってつないだデジタル機器からの録音のときのみ有効になります。
- 録音を一時停止すると、その時点で曲番が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

ネットワークウォークマンで音楽を聞く

あらかじめ本体内蔵の充電式電池を充電し（13ページ）、音楽データを本機の内蔵フラッシュメモリー、またはマジックゲート対応“メモリースティック　デュオ”（別売り）に転送／録音（NW-MS77DRのみ）しておきます。（17〜23ページ）

ご注意

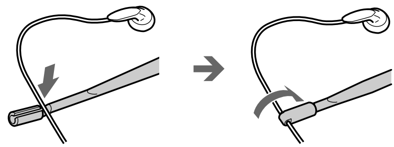
ネットワークウォークマンを操作するときは、USBクレードル、または録音USBクレードルから取りはずしてください。

1 ヘッドホンを装着する

はじめに、プラグカバーが本体にロックされていることを確かめてください。ヘッドホンと付属のネックストラップを使って、本機を携帯することができます。ポケットやカバンに入れてご使用になりたいときは、付属の延長コードをお使いください。（27〜28ページ）

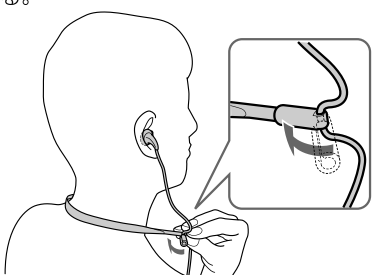


① 付属のネックストラップの端を図のように折り返して、ヘッドホンコードをとめる。
（図のヘッドホンはNW-MS70D/MS77DRの例）



ヘッドホンコードがはずれないように、付属のネックストラップの折り返し部分がしっかりと固定されていることを確かめてください。

② ネックストラップを図のように首にかけて、もう片方のヘッドホンコードも同じようにとめる。

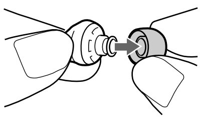


ご注意

ヘッドホンコードの長さ調節は、ネックストラップの折り返し部分を押さえて行ってください。

NW-MS90Dのみ
イヤーピースの正しい装着方法

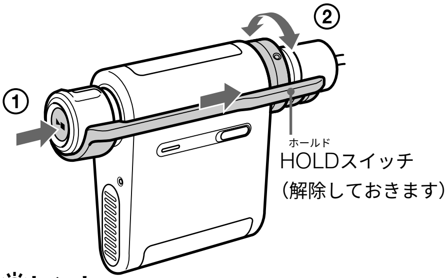
イヤーピースが耳にフィットしていないと、低音が聞こえないことがあります。より良い音質を楽しんでいただくためにはイヤーピースをおさまりの良い位置に調整したり、耳の奥まで押し込むなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。



2 再生する

① 再生／停止ボタンを押す。

② VOL（ボリューム）（+/–）つまみを回して音量を調節する。



ヒント

停止状態のまま10秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中の時は、スクロール終了後に表示が消えます。

通常再生のときは、最後まで再生すると自動的に停止します*。

* "メモリースティック"（別売り）を挿入して本機をお使いの場合、内蔵フラッシュメモリーの音楽データを最後まで再生すると、自動的に"メモリースティック"の音楽データの再生が始まります。

再生が始まらないときは

HOLD（ホールド）（誤操作防止）スイッチが解除されているのを確認してください。（33ページ）

再生を途中で止めるには

再生／停止ボタンを押します。

音量を調節するには

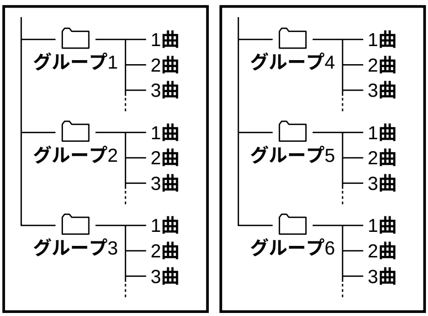
音量はプリセットとマニュアルで調整できます。（36〜37ページ）

グループ機能とは

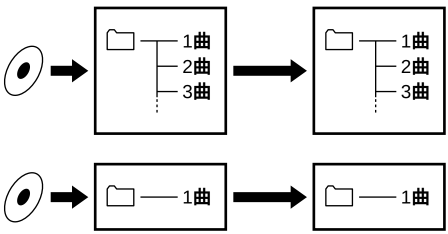
グループ機能とは、ネットワークウォークマンで、聞きたい曲を素早く見つけるための機能です。転送される曲を、CDアルバム別や、アーティスト別などのグループにまとめて転送したり再生したりできます。

グループ機能を使って" メモリースティック "に転送した曲を、グループ機能に対応してない機器で編集すると、グループに関する情報が失われたり壊れたりすることがあるのでご注意ください。

内蔵フラッシュメモリー　" メモリースティック "



- 再生曲順は、内蔵フラッシュメモリーから"メモリースティック"の順番で再生されます。
- 再生時の曲番は、グループ内での曲番が表示されます。
- シャトルスイッチを引くと、曲名モードからグループモードの切り換えができます。
- グループモードでは、曲名ではなくグループ名が表示され、曲送りの単位もグループ単位で送られます。

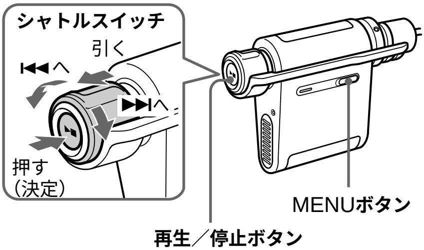


グループ単位での転送

SonicStageに取り込んだ音楽データは、1曲でも必ずグループをつくって、ネットワークウォークマンの内蔵フラッシュメモリーまたは"メモリースティック"に転送されます。

次ページへつづく

その他の操作



ヒント

シャトルスイッチを引くとグループモードに入れます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
次の曲の頭出し*1	⏭へ短く回す
再生中の曲の頭出し*1	⏮へ短く回す
次のグループの最初の曲の頭出し*2	手前に引き、⏭へ短く回す
前のグループの最初の曲の頭出し*2	手前に引き、⏮へ短く回す
早送り*3	⏭へ回し、止めたい場所で手をはなす
早戻し*3	⏮へ回し、止めたい場所で手をはなす

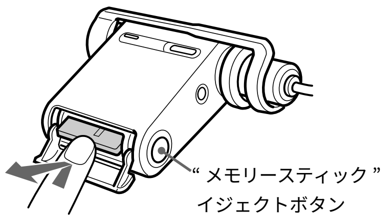
*1 停止中にシャトルスイッチを⏭（⏮）へ回した状態にしておくと、次の曲（現在の曲）、さらに次の曲（前の曲）を連続して頭出しできます。

*2 停止中にシャトルスイッチを引き、そのまま⏭（⏮）へ回した状態にしておくと、次（現在）のグループの先頭の曲、さらに次（前）のグループの先頭の曲を連続して頭出しできます。

*3 早送り／早戻しを開始してから5秒経過すると、早送り／早戻しの速度がより高速になります。

“メモリースティック” を取り出すには

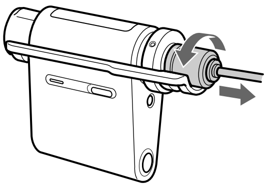
“メモリースティック” イジェクトボタンを押し、メモリースティック挿入口のふたを開け“メモリースティック”を軽く一回押して奥まで押し込み、いったん手を離してから引き抜いて取り出してください。



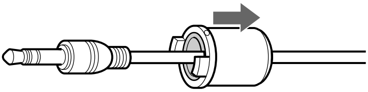
本体からヘッドホンを取りはずす

付属のヘッドホン以外を使用したいときや延長コードを使いたいときなどは、次のようにして本体からヘッドホンを取りはずしてください。

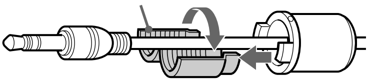
① プラグカバーを反時計回りにまわして、本体からはずす。



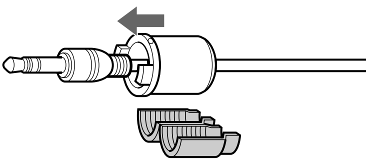
② プラグカバーをヘッドホンからはずす。



③ アダプターをはずす。



アダプターを出しにくいときは、ボールペンの先などで押し出してください。



ご注意

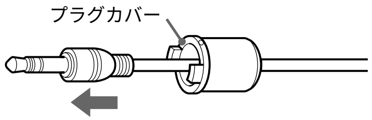
- 付属のヘッドホンをお使いの場合は、プラグカバーの取りはずしは不要です。
- 別売りのヘッドホンをご使用のときは、プラグカバーをはずした状態で、直接ヘッドホンジャックに差してお使いください。
- 取りはずしたプラグカバーとアダプターはなくさないように大切に保管しておいてください。

次ページへつづく

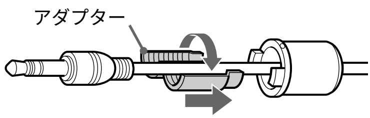
ヘッドホンコードを延長して使う

本体をポケットやカバンなどに入れて、ご使用になりたいときは、付属の延長コードにプラグカバーをつけてお使いください。

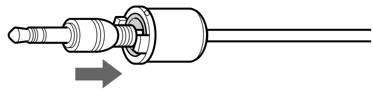
① 延長コードのヘッドホンプラグをプラグカバーに通す。



② アダプターでヘッドホンコードをはさみ、アダプターのみをプラグカバーの中に奥まで差し込む。

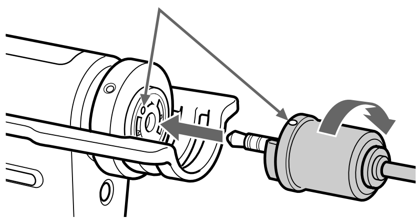


③ ヘッドホンプラグをプラグカバーの中に奥まで差し込む。



④ ヘッドホンプラグをプラグカバーごとヘッドホンジャックに差す。

本体とプラグカバーの目印（○）を合わせて差し込み、時計回りにカチッと止まるまで回すとロックされます。ロックが緩んでいるとプラグカバーがはずれてしまいます。



⑤ 延長コードにヘッドホンをつなぐ。

ご注意

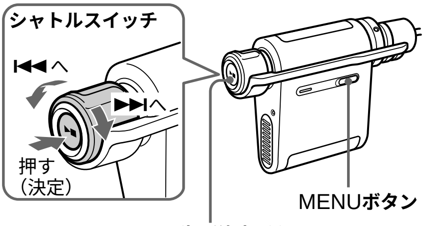
ヘッドホンを本体やプラグカバーから着脱するとき、ヘッドホンコードを引っぱらないでください。断線の原因となります。

いろいろな再生モード

全曲のリピート、1曲のリピート、シャッフルリピート、アルバム単位のグループリピート、グループシャッフルリピートの5通りの再生モードがあります。

再生モード	アイコン表示*	液晶表示
通常の再生	なし	NORMAL
全曲を繰り返し再生		All Repeat
1曲を繰り返し再生	1	1 Repeat
全曲を順不同に再生	SHUF	Shuf Rep
グループを繰り返し再生		GP Rep
グループを順不同に再生	SHUF	GP Shuf Rep

* アイコン表示は手順3で決定してから点灯します。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 シャトルスイッチを回して「PLAYMODE>」（再生モードメニュー）を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

NORMAL

3 シャトルスイッチを回してお好みの再生モードを選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

選んだ再生モードのアイコンが点灯します。



4 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

通常の再生に戻すには

手順3で「NORMAL」を選びます。

ご注意

- 60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。
- 曲が1曲も入っていない場合は、再生モードの設定はできません。
- “メモリースティック”を抜いた時や、SonicStageから曲の入れ換えを行った場合には、再生モードはクリアされます。

表示モードを切り換える

再生中または停止中に表示窓で曲番やタイトルなどの情報を確認できます。表示内容の切り換えは、メニューモードに入り、シャトルスイッチで操作します。

- LapTime：曲時間表示モード
  タイトル、アーティスト名を表示した後、次のように表示します。



* 曲の再生が始まったときに、メディアアイコン（再生する曲の記憶媒体）が3秒間表示されます。
内蔵フラッシュメモリー：
“メモリースティック”：
再生中：♫と♫を交互に表示。
停止中：メディアアイコンを表示。
連続頭出し中：▶▶| または |◀◀ を表示。
早送り／早戻し中：▶▶ または ◀◀ を表示。

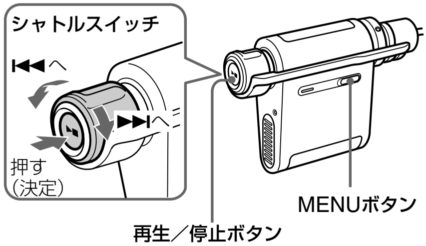
- Title：タイトル表示モード
  タイトルとアーティスト名が表示されます。
  12 文字を超える場合は、スクロールします。

♫ Title/Artis

- TrackInfo：トラックインフォメーション表示モード
  タイトル、コーデック、ビットレートが表示されます。12 文字を超える場合は、スクロールします。

♫ Title/Codec/

早送り／早戻し中および連続頭出し中は現在の位置を表す表示が出ます。



1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 シャトルスイッチを回して「DISPLAY>」（表示モードメニュー）を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。
設定されている表示モードが点滅表示されます。

LapTime

3 シャトルスイッチを回してお好みの表示モードを選び、再生／停止ボタンを押して決定する。
表示モードメニューに切り換わります。

DISPLAY>

4 MENUボタンを押す。
通常の再生画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

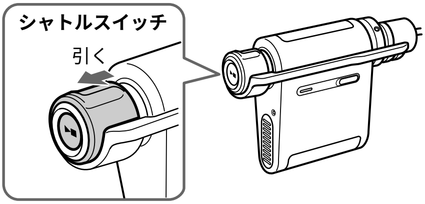
メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。

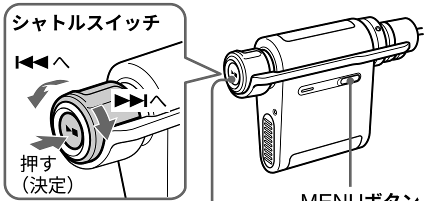
グループ表示を見るには

どの表示モードでも、シャトルスイッチを引けば、グループ表示を見ることができます。



録音できる残り時間を見る（NW-MS77DRのみ）

内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック　デュオ”（別売り）の残り録音可能時間を確認できます。（残り録音可能時間は、停止中にのみ表示されます。再生中は表示されません。）
本機に“メモリースティック”が挿入されているときは“メモリースティック”の残り録音可能時間、“メモリースティック”が挿入されていないときは内蔵フラッシュメモリーの残り録音可能時間を確認できます。



ヒント

残り録音可能時間は、録音するときのビットレート（48 kbps/64 kbps）によって異なります。録音するときのビットレートについては、「ビットレートを選ぶ」（41ページ）をご覧ください。

1 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 **シャトルスイッチを回して「REC REMAIN>」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

残り録音可能時間が表示されます。

-11h37m 48k

次ページへつづく

3　残り録音可能時間を確認したら、再生／停止ボタンを押す。

4　MENUボタンを押す。
通常の再生画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

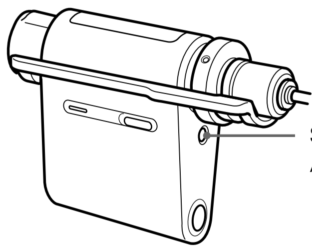
高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調してあらかじめお好みの音質を設定できます。2種類の音質設定を記憶させることができ、再生中に設定を選べます。

音質を選ぶ

お買い上げ時の設定

音質	SOUND 1（S1）	SOUND 2（S2）	SOUND OFF（通常の音質）
Bass（低音）	＋1	＋3	±0
Treble（高音）	±0	±0	±0



SOUND/AVLSボタンを繰り返し押して「S 1」または「S 2」を選ぶ。

S 1→ S 2→表示なし（→ S 1に戻る）

通常の音質に戻すには

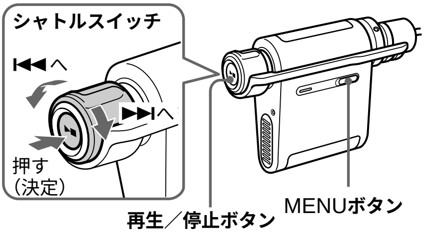
「SOUND　OFF」を選びます。

音質を変える

Treble（高音）とBass（低音）の2つ音質調整ができます。

音質	数値の設定
Bass（低音）	－4 から+3
Treble（高音）	－4 から+3

「SOUND 1」、「SOUND 2」にお好みの設定を記憶できます。音楽データの再生時に、記憶させた設定で楽しめます。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 シャトルスイッチを回して「SOUND>」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

SOUND 2

3 「SOUND 1」の音質を設定する。

① シャトルスイッチを回して「SOUND：1>」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。
② 「SOUND 1：B>」と表示されたら、もう一度再生／停止ボタンを押す。
③ シャトルスイッチを回し、Bassの値を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。
④ 「SOUND 1：T>」と表示されたら、もう一度再生／停止ボタンを押す。
⑤ 手順③と同じように、シャトルスイッチを回し、Trebleの値を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

4 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。

「SOUND 2」の設定を変えるには

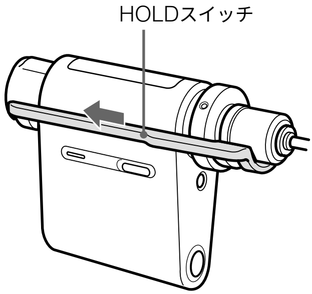
手順3の①で「SOUND：2>」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

誤操作を防ぐ（ホールド）

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。



HOLDスイッチを◀━ の方向にずらす。

操作ボタンが働かなくなります。

ホールド中に他のボタンを押すと、「HOLD」と点滅表示されます。

ホールドを解除するには

HOLDスイッチを◀━ の逆方向にずらします。

音楽以外の情報を持ち運ぶ

パソコンのハードディスク内のデータをWindowsのエクスプローラを使って、内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック”に取り込むことができます。

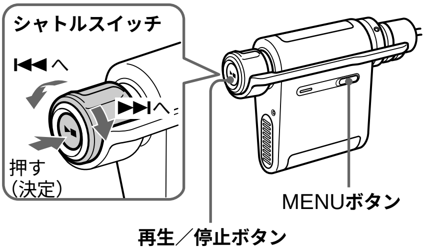
Windowsのエクスプローラの外部ドライブ（Dドライブなど）として、内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック”のいずれかひとつが表示されます。本機に“メモリースティック”が挿入されているときは、“メモリースティック”のみ表示され、内蔵フラッシュメモリーは表示されません。内蔵フラッシュメモリーを表示させるには、“メモリースティック”を本機から抜いてください。

ご注意

本機のデータストレージ機能を使って本機内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック”のファイルを操作している間、SonicStageは使用できません。同時に使用すると『機器・メディアにアクセスできません 』というエラーメッセージが表示されます。

パソコンの内蔵時計に本体の時計を合わせる

設定を「ON」にしていると、ネットワークウォークマンをパソコンに接続したときにSonicStageからパソコンの内蔵時計に合わせて自動で本機の時計の設定ができます。初期設定は「ON」になっています。
再生期限付きの曲の場合、本機の時計設定をしていないと再生できませんので、必ず現在時刻を設定してください。
ネットワークウォークマン本体で時刻を設定するには「現在時刻を設定する（DATE-TIME）」（35ページ）をご覧ください。



設定を「OFF」にする

パソコンに接続してもパソコンの内蔵時計に合わせないようになります。

1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

```
PLAYMODE>
```

2 シャトルスイッチを回して「PC CLK：」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

```
PC CLK:ON
```

3 シャトルスイッチを回して「OFF」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

4 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

設定を「ON」にするには

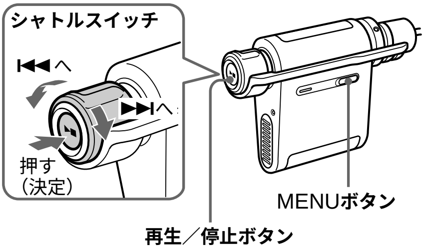
手順3で「ON」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

現在時刻を設定する（DATE–TIME）

本体の現在時刻を設定し、時計を表示させることができます。
パソコンに接続して自動でパソコンの時刻情報を本機に設定することもできます。
（34ページ）



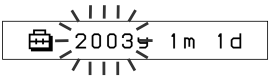
1 MENU**ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。



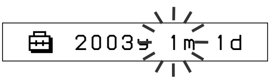
2 シャトルスイッチを回して「DATE–TIME」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

「年」の数字が点滅します。



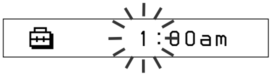
3 シャトルスイッチを回して「年」の数字を合わせ、再生／停止ボタンを押して決定する。

「月」の数字が点滅します。



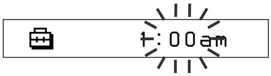
4 手順3で「年」を入力したのと同様に「月」と「日」の数字を入力する。

シャトルスイッチを回して「日」を合わせ、再生／停止ボタンを押して決定すると、時刻設定表示画面に変わります。



5 シャトルスイッチを回して「時」の数字を合わせ、再生／停止ボタンを押して決定する。

「分」の数字が点滅します。



6 手順5で「時」を入力したのと同様に「分」を入力する。

シャトルスイッチを回して「分」を合わせ、再生／停止ボタンを押して決定します。

7 MENU**ボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

時計を表示させるには

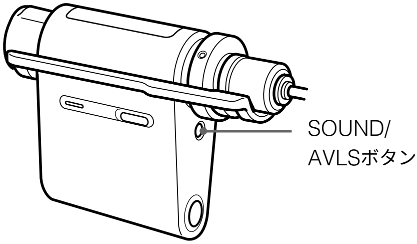
MENUボタンを押し続けます。
押している間だけ現在時刻が表示されます。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 時刻が設定されていないときは、年月日、時刻とも「-- --」が表示されます。
- PC CLKを「ON」に設定していると（34ページ）パソコン接続時に自動的にパソコンの内蔵時刻に書きかわってしまいます。

音もれを抑える（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



SOUND/AVLSボタンを0.5秒以上押し続ける。

表示窓に ☺（AVLS表示）が表示されます。この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

AVLSを取り消すには

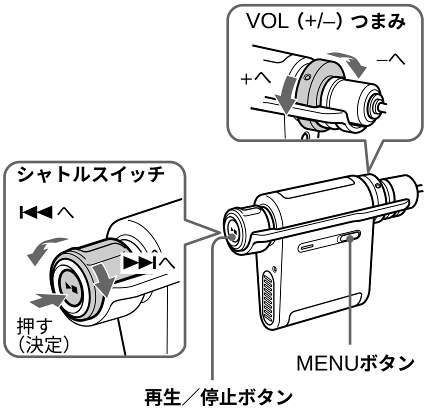
表示窓の ☺ が消えるまで SOUND/AVLS ボタンを押し続けます。

お好みの音量を設定する（プリセットボリューム）

音量調節には2つのモードがあります。

マニュアルモード：VOL（+/–）つまみを回すと32段階で連続して音量が変わります。

プリセットモード：VOL（+/–）つまみであらかじめ設定しておいたLO、MID、HIの3段階に切り換わります。



プリセットモードの音量を設定する

1 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 **シャトルスイッチを回して「VOL： MAN」を表示させる。**

VOL :MAN

3 再生／停止ボタンを押して決定する。

「MAN」が点滅します。

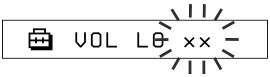
4 シャトルスイッチを回して「SET>」を表示させる。



5 再生／停止ボタンを押して決定する。

「VOL LO xx」*が点滅します。

* xxは数値



6 LO、MID、HIの各値を設定する。

① VOL（+/–）つまみを回してLOの値を設定する。
② シャトルスイッチを回して「VOL MID xx」を表示させ、VOL（+/–）つまみを回してMIDの値を設定する。
③ シャトルスイッチを回して「VOL HI xx」を表示させ、VOL（+/–）つまみを回してHIの値を設定する。

7 再生／停止ボタンを押して決定する。

8 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。
この設定によりボリュームがLO、MID、HIの3段階に調節できるようになります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

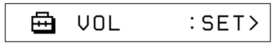
AVLS（36ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。

マニュアルモードに戻すには

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

2 シャトルスイッチを回して「VOL：SET」を表示させる。



3 再生／停止ボタンを押して決定する。

「SET>」が点滅します。

4 シャトルスイッチを回して「MAN」を表示させる。



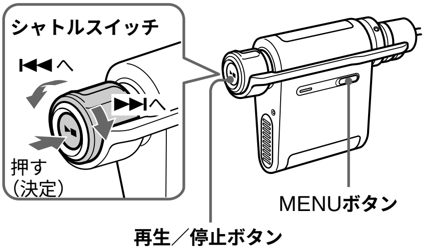
5 再生／停止ボタンを押して決定する。

6 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。
この設定によりボリュームつまみによる音量調節ができるようになります。

ピッという確認音を鳴らさないようにする（BEEP）

本体の確認音を消すことができます。



1 MENU**ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 **シャトルスイッチを回して「**BEEP：**」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

「ON」が点滅します。

BEEP：ON

3 **シャトルスイッチを回して「**OFF**」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

BEEP：OFF

4 MENU**ボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

確認音が鳴るようにするには

手順3で「ON」を選びます。

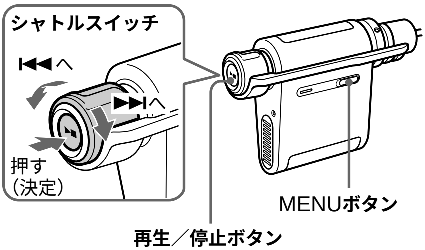
途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

液晶バックライトの点灯のしかたを変える

ONまたはOFFから選べます。

メニュー設定	液晶バックライトの状態
OFF	常に消灯
ON	ボタン操作後、3秒間点灯（またはスクロール終了まで点灯）



設定を「ON」にする

1 MENU**ボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 **シャトルスイッチを回して「**LIGHT：**」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

「OFF」が点滅します。

LIGHT：OFF

3 **シャトルスイッチを回して「**ON**」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

LIGHT：ON

4 MENU**ボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

設定を「OFF」にするには

手順3で「LIGHT:OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

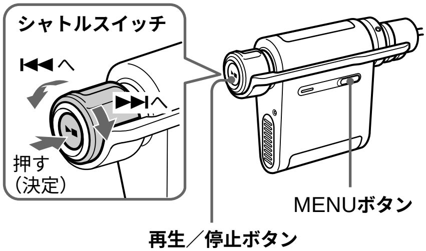
メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

タイトル表示を変える

付属のSonicStageでは対応していません。アルバム名や曲名を日本語と英語の両方で入力する機能に対応しています。音楽データのアルバム名や曲名に英語／日本語両方の名前がついていた場合に、どちらを優先して表示するかを選びます。

「TITLE : ENG」：英語

「TITLE : JPN」：日本語



ご注意

NW-MS77DRは、タイトル表示を変えることができません。

1 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。



2 **シャトルスイッチを回して「TITLE : 」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**



3 **シャトルスイッチを回して「TITLE : ENG」または「TITLE : JPN」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

4 **MENUボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

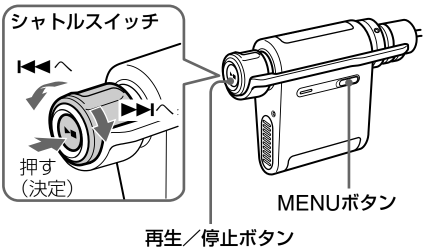
シンクロ録音設定を変更する（NW-MS77DRのみ）

シンクロ録音の設定を選ぶことができます。
シンクロ録音を有効にすると、（光デジタルケーブルを使ってつないだデジタル機器からの録音のときのみ）録音元の音に合わせて録音を始めたり止めたりすることができます。
録音元で無音が続くと、自動的に録音一時停止になり、再び音を探知すると、録音が開始されます。

ONまたはOFFから選べます。

メニュー設定	設定内容
ON	シンクロ録音が有効
OFF	シンクロ録音が無効

初期設定は、OFFになります。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

```
PLAYMODE>
```

2 シャトルスイッチを回して「SYNC：」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

「OFF」が点滅します。

```
SYNC:OFF
```

3 シャトルスイッチを回して「ON」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

```
SYNC:ON
```

4 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

設定を「OFF」にするには

手順3で「OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

ヒント

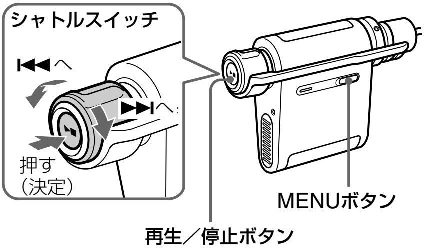
シンクロ録音中に録音元で約3秒の無音が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。

ご注意

- アナログ機器から録音する場合、シンクロ録音設定は無効となります。
- シンクロ録音中は、手動で一時停止、または一時停止を解除することができません。
- 録音中は、シンクロ設定を切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- シンクロ録音中に録音元で無音状態が続いても、録音元の雑音が原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- シンクロ録音中に、録音元の同一曲内で約2秒の無音が続くと、再び音が出たところで曲番が1つ増えます。

ビットレートを選ぶ（NW-MS77DRのみ）

ATRAC3plus形式で録音するときのビットレートを48 kbps/64 kbpsから選ぶことができます。ビットレートは、数値が高いほど高音質になりますが、音楽データの容量は大きくなります。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 シャトルスイッチを回して「BITRATE：」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

BITRATE:48k

3 シャトルスイッチを回してお好みのビットレートを選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

BITRATE:64k

4 MENUボタンを押す。

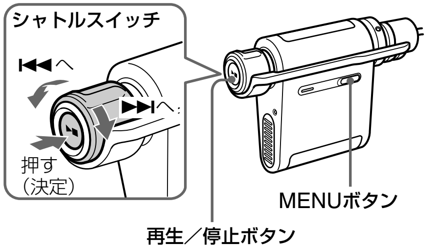
通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

曲名やグループ名を編集する（EDIT NAME）（NW-MS77DRのみ）

録音した曲名やグループ名を変更できます。曲名やグループ名は、停止中にのみ変更可能です。再生中は変更できません。また、アーティスト名を変更することはできません。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 シャトルスイッチを回して「EDIT NAME>」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

G001T001

次ページへつづく

本体の設定を変える

3 編集したい曲またはグループを選ぶ。

曲名を編集する場合：
シャトルスイッチを回して編集する曲を選び、再生／停止ボタンを押して決定します。

グループ名を編集する場合：
シャトルスイッチを引いてグループ名表示にしてから、シャトルスイッチを引いたまま回して編集するグループを選び、再生／停止ボタンを押して決定します。

曲またはグループを選ぶと、先頭文字が点滅して、編集可能な状態になります。



4 曲またはグループのタイトルを変更する。

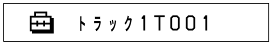
① 手順3でグループを選んだ場合は、シャトルスイッチを引いた状態から元に戻す。

② シャトルスイッチを回して、順番に表示される文字の中から変更したい文字のところで、再生／停止ボタンを押す。
選んだ文字が決定され、次の文字が点滅します。



ヒント
シャトルスイッチを回した状態でしばらくシャトルスイッチを止めると、文字の種類単位の表示に切り換わります。変更したい文字の種類のところでシャトルスイッチを戻し、再びシャトルスイッチを回すと、選んだ種類の文字が順番に切り換わります。

③ 手順②を繰り返して、タイトルの変更が終了したら、再生／停止ボタンを数秒間押し続ける。
変更したタイトルが登録されます。



5 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

その他の編集操作は、次の通りです。

機能	操作
カーソルを移動する	シャトルスイッチを引き、引いた状態で回す。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	記号の最終文字を選ぶ。
カーソル上の文字を削除する。	SOUND/AVLSボタンを押す。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

途中で編集操作をやめるには

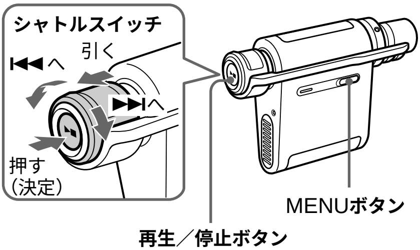
MENUボタンを押します。

ご注意

- 録音USBクレードルで録音した曲データのみ、曲名やグループ名の編集が可能です。付属のSonicStageを使って、パソコンから本機に転送した曲データを選んだ場合は、「CANNOT EDIT」と表示され、編集することはできません。また、録音USBクレードルで録音した曲データでも、SonicStageを使って曲名またはグループ名を編集すると、本機ではその曲名またはグループ名を編集できなくなります。
- 入力できる文字の種類は、カタカナ（半角）、アルファベットA～Zの大文字、小文字、数字0～9、記号（”( ) , _ ’ - 、スペース）です。
- 入力できる文字数は、20文字です。

音楽データを消去する（ERASE）

内蔵フラッシュメモリーまたは本機に挿入した“メモリースティック”（別売り）の音楽データを1曲ずつ、もしくはグループ（アルバム単位）ごとにイレース（消去）することができます。イレースする前に、必ず消去する内容を確認してください。
消去により消してしまった曲は転送元のパソコンにつなぐことで、SonicStageが自動的に曲を戻したとみなして残り転送回数が元に戻ります。
パソコンに音楽データがない曲の権利は戻りません。



ヒント
シャトルスイッチを引き、引いた状態で回すとグループモードに入れます。

1 **MENUボタンを押す。**
メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 **シャトルスイッチを回して「ERASE」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

ERASE

再生中はこの機能を選択できません。

3 **シャトルスイッチを回して消去したいタイトルを選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

ERASE:N

このとき曲の先頭から再生します。10秒以上操作しないと「ERASE」はキャンセルされます。

4 **シャトルスイッチを回して「Y」を表示させる。**

ERASE:Y>

5 **再生／停止ボタンを押す。**
「Really？」と表示されます。

6 **再生／停止ボタンを押す。**
「ERASING」が表示され、音楽データを消去します。消去が終了すると、「COMPLETE」と表示され、手順2の画面に戻ります。

7 **MENUボタンを押す。**
通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

イレース（消去）するのをやめるには

手順4で「N」を選びます。

グループを消去するには

手順3で、シャトルスイッチを引き、引いた状態で回して、消去したいグループを選びます。

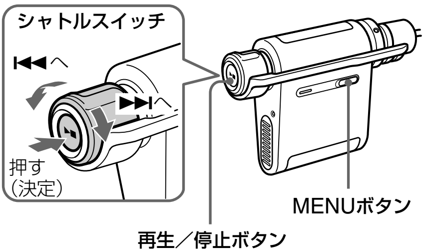
ご注意

- 再生中は消去できません（メニュー画面に「ERASE」が表示されません）。
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、表示窓に「MS LOCKED」と表示され、消去できません。
- 「ERASING」の表示中は、“メモリースティック”を抜かないでください。

音楽データを再グループ化する（REGROUP）

SonicStageをインストールした（17ページ）パソコン以外で内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック　デュオ”（別売り）の音楽データの一部を消去または追加して本機でお使いになる場合、音楽データがグループとして機能しなくなることがあります*。再グループ化の操作をすると、グループ機能を元に戻せる場合があります。必要な編集はパソコンにつないでSonicStage上でおこなってください。

＊ 音楽データがグループのくくりからはずれても、曲順は変わりません。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

PLAYMODE>

2 シャトルスイッチを回して「REGROUP」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

REGROUP：N

再生中はこの機能を選択できません。

3 シャトルスイッチを回して「Y」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

「Really？」と表示されます。

Really?

4 再生／停止ボタンを押して決定する。

再グループ化が実行されます。実行中は「REGROUPING」が点滅します。再グループ化が終了すると「COMPLETE」と表示され、手順2の画面に戻ります。

5 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

- 再生中は再グループ化できません（メニュー画面に「REGROUP」が表示されません）。
- 「REGROUP」の表示中は、“メモリースティック”を抜かないでください。

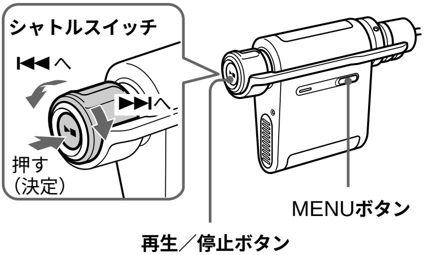
ヒント

再グループ化しても、元のグループに戻らない場合もあります。編集が必要な場合は、本機をパソコンにつないでSonicStage上で編集してください。

USB接続で充電する（USB CHARGE）

専用USB接続ケーブルで本機をパソコンにつないで、充電できるように設定します。
ACパワーアダプターをつながないで充電ができます。

ヒント
USB充電は、外出先などで充電が必要になった場合の便利な機能です。通常の充電にはACパワーアダプターをお使いください。



1 **MENUボタンを押す。**
メニュー画面が表示されます。

```
PLAYMODE>
```

2 **シャトルスイッチを回して「USB CHG：」を 選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**
「OFF」が点滅します。

```
USB CHG:OFF
```

3 **シャトルスイッチを回して「ON」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。**

```
USB CHG:ON
```

4 **MENUボタンを押す。**
通常の画面に戻ります。

5 **USBケーブルを使って本機をパソコンに接続する。**
「パソコンからネットワークウォークマンに音楽を転送する」（17ページ）の手順4をご覧ください。
USBからの充電が始まります。

設定を「OFF」にするには
手順3で「OFF」を選びます。

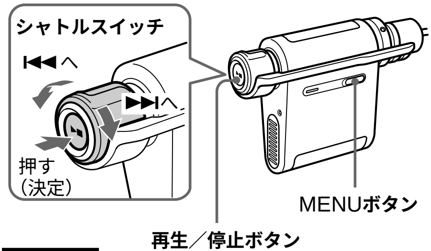
途中でメニュー操作をやめるには
メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意
パソコンによってはUSB端子から大量の電流を流せないものがあります。パソコンの画面上にエラーメッセージが表示され本機が認識されなくなります。その場合は、パソコンとの接続をはずして本機能の設定をOFFにしてください。

ヒント
通常はACパワーアダプターを接続して充電してください。

メモリーを初期化する（FORMAT）

本機で内蔵フラッシュメモリーおよび“メモリースティック　デュオ”（別売り）をフォーマット（初期化）することができます。
フォーマットすると、記録されたデータはすべて消去されます。フォーマットする前に内容を確認してください。（“メモリースティック”をフォーマットすると、本機で記録したデータ以外のデータもすべて消去されます。）市販の“メモリースティック”はお買い上げ時にすでにフォーマットされています。再度フォーマットする必要はありません。



ご注意

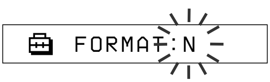
本機および本機付属のSonicStageソフトウェア以外で初期化した“メモリースティック”は、本機ではお使いになれません。
詳しくは11ページをご覧ください。

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



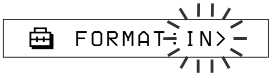
2 シャトルスイッチを回して「FORMAT」を選び、シャトルスイッチを押して決定する。



再生中はこの機能を選択できません。

“メモリースティック”が挿入されているときは

① シャトルスイッチを回して、「IN」（内蔵フラッシュメモリー）か「MS」（“メモリースティック”）いずれか初期化したいメモリーを選ぶ。



② 再生／停止ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「Y>」を選び、再生／停止ボタンを押して決定する。

「Really ?」と表示されます。

4 再生／停止ボタンを押す。

「FORMATTING」が点滅表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると、「COMPLETE」と表示され、手順2の画面に戻ります。

5 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

フォーマット（初期化）するのをやめるには

手順3で「N」を選びます。

ご注意

- 再生中は初期化できません。
（メニュー画面に「FORMAT」が表示されません。）
- “メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、表示窓に「MS LOCKED」と表示され、初期化できません。
- 「FORMATTING」の表示中は、“メモリースティック”を抜かないでください。

ヒント

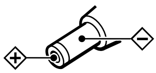
初期化により消してしまった曲は転送元のパソコンにつなぐことでSonicStageが自動的に曲を戻したとみなして残り転送回数が元に戻ります。

使用上のご注意

ご注意

ACパワーアダプターについて

- 本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。



極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はすみやかにコンセントから抜いてください。

充電について

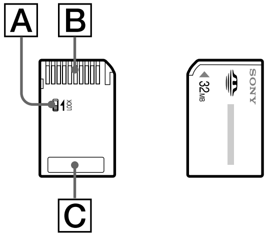
- 充電には付属のACパワーアダプターとUSBクレードル、または録音USBクレードルをお使いください。
- 充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。
- はじめて充電するときや、長時間使用しなかった後では、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。何回か放充電を繰り返すと通常の状態に戻ります。
- 充電式電池を充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、電池が劣化していると思われます。ソニーサービス窓口へお問い合わせください。

置き場所について

次のような場所には置かないでください

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く

“メモリースティック　デュオ”の取り扱いについて



- メモリースティックの表面にラベル等のシールを貼らないでください。取り出せなくなる場合があります。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。(A)
- 誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。
- データの読み込み中、書き込み中には「メモリースティック」を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に「メモリースティック」を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータはバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書きこむときは、あまり強い圧力をかけないでください。(C)
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。(B)
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

次ページへつづく

使用上のご注意（つづき）

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。（“メモリースティック”が本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、“メモリースティック”を入れたままご相談されることをおすすめします。）

お手入れについて

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。

ご注意

- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。
- USBクレードル、または録音USBクレードル接続部分のすき間から内部に水が入らないようご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

本機を廃棄されるときのご注意

本機内蔵のニッケル水素電池について

Ni-MH

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

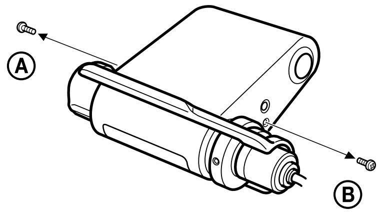
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/を参照してください。

ご注意

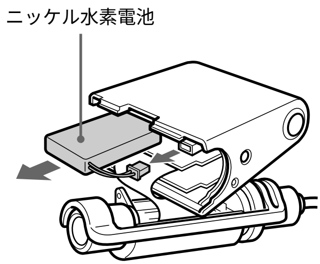
本機を廃棄するとき以外は、絶対にネジをはずさないでください。

ニッケル水素電池の取りはずしかた

① 本体の側面のネジ Ⓐ 、Ⓑ をドライバーではずす。



② 本体カバーをはずす。



③ コネクター部分を元から引き抜き、電池を引き抜く。

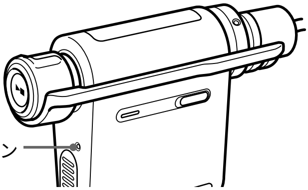
④ コネクター部分をテープなどで巻いて絶縁する。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度お調べください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。
パソコンとの接続については、付属ソフトウェアのオンラインヘルプもご覧ください。

リセットするには

下記のチェックをしても正常に動作しないとき、音が出ないときは、本体のリセットボタンを先の細いもので1秒以上押してください。



ヒント

リセットボタンを押しても、音楽データは失われません。

こんなときは

本体の操作について

症状	原因／処置
再生音が出ない 雑音が入る	• 音量がゼロになっている → 音量を上げてください。（36〜37ページ） • ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → ヘッドホンジャックにしっかり差し込んでください。（27〜28ページ） • ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 • 再生期限のついた曲を再生している → 再生期限の切れた曲は、再生できません。（20ページ） • 曲が入っていない →「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
ボタン操作に反応しない	• HOLDスイッチがONになっている → HOLDスイッチをOFFにしてください。（33ページ） • 結露している → そのまま約2、3時間おいてください。 • 電池の残量が少ない → 充電してください。（13ページ） • USBクレードル、または録音USBクレードルの上に置いている → USBクレードル、または録音USBクレードルの上に置いているときは本体の操作はできません。 USBクレードル、または録音USBクレードルからはずして操作してください。
再生音が大きくならない	AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください。（36ページ）
右チャンネルから音が出ない	ヘッドホンが正しく差し込まれていない → ヘッドホンプラグを奥まで差し込んでください。（28ページ）
再生していたら急に音が止まった	電池が消耗している → 充電してください。（13ページ）

その他

次ページへつづく

表示窓について

症状	原因／処置
表示窓のバックライトがつかない	LIGHTが「OFF」の設定になっている → メニューで「LIGHT」を「ON」に設定してください。（38ページ）
タイトル欄に「□」と表示される	本機で表示できない文字が使用されている → 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

充電について

症状	原因／処置
電池の持続時間が短い	• 0 ℃以下の環境で使用している → 電池の特性によるもので故障ではありません。 • 長期間使用していなかった → 何回か充放電を行ううちに、電池性能が回復します。 • 充電式電池の交換が必要 → ソニーサービス窓口にお問い合わせください。 • 充電時間が短い → 電池を保護するため、最初の15分間は電池状態のチェックを行い、その後で急速充電を行います。CHARGEランプが消えて充電が完了するまで、充電を行ってください。
CHARGEランプが点灯しない	本機が正常に動作していない → リセットボタンを押してリセットしてください。（49ページ）
CHARGEランプが点滅する	周囲の温度が低温または高温で充電している → 周囲の温度0～35℃の環境で充電してください。周囲の温度が低温または高温での充電は電池の特性を劣化させるため、充電されません。

パソコンとの接続や付属ソフトウェアについて

症状	原因／処置
インストールできない	対応のOS以外のOSを使っている → 詳しくは 別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。
専用USB接続ケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示窓に「CONNECT」と表示されない	• SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上で他のアプリケーションが起動している → しばらくしてから、専用USB接続ケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 • 専用USBケーブルが抜けている → 専用USBケーブルを差し直してください。 • USBハブを使用している → 動作の保証外です。パソコンのUSB端子に接続してください。

症状	原因／処置
パソコンに接続したとき、ネットワークウォークマンがパソコンに認識されない	● USBクレードル、または録音USBクレードルに正しく置かれていない → 正しく置き直してください。 ● 専用USBケーブルが抜けている → 専用USBケーブルを差し直してください。 ● 本機用のドライバをインストールしていない → 本機用のドライバ をインストールしてください。本機用のドライバは付属のCD-ROMより「SonicStage ソフトウェア」をパソコンにインストールすると自動的にインストールされます。（17ページ）
転送できない	● 専用USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない → 専用USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直してください。 ● 1つの曲をすでに3回転送している → 一度転送した曲をパソコンに戻すと、再び転送できるようになります。 ● 転送しようとしたメディア（内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック”）の残り容量が不足している → 聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 ● 内蔵フラッシュメモリーに401曲以上または401グループ以上転送しようとしている → 内蔵フラッシュメモリーに転送できる曲数は、最大で400曲、グループは最大で400グループです。 ● “メモリースティック”に401曲以上または401グループ以上転送しようとしている → “メモリースティック”に転送できる曲数は、最大で400曲、グループは最大で400グループです。 ● 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向によりネットワークウォークマンに転送できないことがあります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお尋ねください。 ● マジックゲートに対応してない“メモリースティック”に転送しようとしている → “MG メモリースティック”をお使いください。
転送できる曲数が少ない（録音できる時間が短い）	● ネットワークウォークマン内の空き容量が、転送しようとした曲の容量よりも少なくなっている → 聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 ● 転送しようとしたメディア（内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック”）に音楽以外のデータが入っている → 転送しようとしたメディア（内蔵フラッシュメモリーまたは“メモリースティック”）内に音楽以外のデータが入っている分、転送できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。

次ページへつづく

症状	原因／処置
パソコンに戻せない	● 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている →転送元のパソコン以外には、曲を戻せません。 ● 転送元の曲を削除した → パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せません。その曲がネットワークウォークマンでも不要の場合は削除してください。
ネットワークウォークマンをパソコンにつなぐと勝手に曲が戻ることがある	SonicStageソフトウェアをインストールした他のパソコンで本機の曲を削除してしまった場合、自分のパソコンに本機をつなぐと、SonicStageは削除された曲を戻したものと自動的にみなし、残り転送回数を元に戻します。
パソコン接続後、“メモリースティック”は表示されるが、中身が見えない	● “メモリースティック”が入っていない → “メモリースティック”を入れてください。 ● “メモリースティック”に異常がある → 専用USBケーブルをはずした状態で“メモリースティック”を挿入し、本体表示窓を確認してください。エラー表示が出た場合は表示内容に従った処置をしてください。（54〜56ページ） ● パソコンがサスペンドモードに入った後、復帰した。 → サスペンドモードから復帰したときは、正しく通信が再開できない場合があります。専用USBケーブルをいったん抜いて、差し直してください。
接続中の動作が不安定	USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → 動作の保証はできません。付属の専用USBケーブルのみで直接パソコンと接続してください。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される	パソコンとネットワークウォークマンが正しく接続されていない → SonicStageを終了し、専用USBケーブルでの接続を確認した後、再度SonicStageを起動して操作してください。

録音について（NW-MS77DRのみ）

症状	原因／処置
録音クレードルのボタンが効かない	● 録音USBクレードルに電源が入っていない → 付属のACパワーアダプターが正しくつながっているか確認してください。 ● 録音選択スイッチが、USB側になっている → LINE IN（光入力）側に切り換えてください。 ● LINE INに録音ケーブルが正しくつながっていない → LINE INに光デジタルケーブルや接続コード（アナログケーブル）が正しくつながっているか確認してください。
録音がエラーになる	● 音楽が送られてこない → 録音元のデジタル／アナログ機器が再生されているか確認してください。再び録音操作を行うときは、その前に必ず、録音USBクレードルのSTOPボタンを押してエラー表示を消してください。 ● 振動が激しい場所に置かれている → 録音中に振動を受けた場合、録音エラーとなる場合があります。安定した場所に置き、録音USBクレードルのSTOPボタンを押してエラー表示を消してから、再び録音操作を行ってください。

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	BEEPの設定が「OFF」になっている → メニューで「BEEP」を「ON」にしてください。（38ページ）
“メモリースティック”が 挿入できない	● 表裏を逆にして挿入している → 正しい方向に挿入してください。（17、21ページ） ● メモリースティック表面にラベル等のシールが貼ってある → シールを貼らないでください。
時計がリセットされる	電池を充電せずにしばらく放置した → 故障ではありません。
本体やUSBクレードル、または 録音USBクレードルが温かくなる	充電中、充電直後である → 急速充電のため、充電中および充電直後は本体やUSBクレードル、または録音USBクレードルが一時的に温かくなることがあります。
他の機器で使っていた “メモリースティック”が使えない	パソコンなどでフォーマット（初期化）してある → 必要なデータをパソコンなどにコピーしたうえで、本機でフォーマットし直してください。（46ページ）
“メモリースティック”のグループがなくなってしまった	グループ対応していない機器で“メモリースティック”または内蔵フラッシュメモリーの内容を書きかえた → パソコンに接続する前に再グループ化（REGROUP）をすると戻る場合があります。（44ページ）
他のメモリースティック機器で “メモリースティック”の曲が再生できない	ATRAC3plus形式の曲をATRAC3plus対応でない機器で再生しようとしている → ATRAC3plus形式の曲は対応の機器でのみ再生できます。

次ページへつづく

こんな表示が出たら

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
ACCESS	“メモリースティック”にアクセス中	アクセスが終わるまでお待ちください。アクセス中は“メモリースティック”を抜かないでください。
AVLS	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください。（36ページ）
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できないデータがある場合は、“メモリースティック”から削除することができます。 詳しくは、「“メモリースティック”または内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（56ページ）をご覧ください。
CANNOT REC	本機を録音USBクレードルにセット後、録音選択スイッチをLINE IN（光入力）に切り換えた。	エラーではありません。録音可能かどうかの確認が終わるまでお待ちください。
	録音に失敗した。	録音ケーブルなどの接続を確認した後、再度録音操作を行ってください。
	本機では録音できない音楽データである。	本機では、対応していない音楽データのため、録音できません。
CONNECT	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。
ERROR	本機の異常が認識された。	本機をソニーサービス窓口にお持ちください。
EXPIRED	• 再生期限付きの音楽データを有効期限外に再生しようとしている。 • 再生期限付きの音楽データを再生しようとしているが、本機の時計設定がされていない。 • 本機で対応していない回数制限付きの音楽データを再生しようとしている。	• 時計設定をしていない場合は、本機のメニューで日時設定を行ってください。（35ページ） • 再生できないデータがある場合は、“メモリースティック”から削除することができます。 詳しくは、「“メモリースティック”または内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（56ページ）をご覧ください。 • 本機は回数制限付きコンテンツに対応しておりません。詳しくは「回数制限付きの曲の再生について」（20ページ）をご覧ください。
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。 詳しくは、「“メモリースティック”または内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（56ページ）をご覧ください。
FORMAT ERROR	＜再生中の場合＞ 本機で再生できないフォーマットの“メモリースティック”が挿入されている。	46ページの方法でフォーマット（初期化）してください。（必ず、本機を使ってフォーマットしてください。その他の方法でフォーマットすると、曲を転送したり、戻したりできても、本機で再生できません。）
	＜録音中の場合＞ 本機で録音できないフォーマットの曲を録音しようとしている。	本機では、対応していない音楽データのため、録音できません。

表示	意味	処置
GROUP FULL	内蔵フラッシュメモリー、または挿入された“メモリースティック”のグループ数が録音可能グループ数を超えている。	必要なグループをパソコンに移してから、グループの削除を行ってください。グループをパソコンに移す方法は、SonicStageソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。
HOLD	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、HOLDスイッチをOFFにしてください。（33ページ）
LOW BATT	電池が消耗している。	充電してください。
MEMORY FULL	メモリーが一杯か、グループが一杯（400グループ）です。	曲の削除を行うか、グループの削除を行ってください。曲の入ってないグループも、1グループとしてカウントされます。空のグループの削除は、SonicStageから行ってください。
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	まず、データをパソコンに戻してから、本機で“メモリースティック”をフォーマット（初期化）してください。（詳しくは、「“メモリースティック”または内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」次ページ参照）
MS LOCKED	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	“メモリースティック”を初期化するときや、パソコンと本機を接続して音楽データを転送するとき、または本機とデジタル／アナログ機器を接続して音楽を録音するとき（NW-MS77DR)、誤消去防止スイッチをOFFにしてください。
NO AUDIO	• 内蔵フラッシュメモリー、または挿入された“メモリースティック”に音楽データが入っていない。 • マジックゲート対応“ メモリースティック　デュオ”以外の“メモリースティック”が挿入されている。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。
NO DATA	曲が1曲も入っていない“メモリースティック”が挿入されている。	付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。
READ ONLY	読み出し専用の“メモリースティック”を挿入している。	マジックゲート対応 “メモリースティック　デュオ”（別売り）を挿入してください。詳しくは、「“メモリースティック”について」（10ページ）をご覧ください。
STICK ERROR	• “メモリースティック”にアクセスできない。 • “メモリースティック”の異常、または本機の異常が認識された。	“メモリースティック　デュオ”を一度抜き差ししてみてください。 それでも解決しない場合は、本機と“メモリースティック”の両方をソニーサービス窓口にお持ちください。
TYPE ERROR	対応していない種類の“メモリースティック”を挿入した。	必要に応じてマジックゲート対応 “メモリースティック　デュオ”（別売り）を挿入してください。

次ページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

“メモリースティック”または内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「FILE ERROR」、「EXPIRED」、「STICK ERROR」、「MG ERROR」が表示された時は、“メモリースティック”または内蔵フラッシュメモリーの一部または全てのデータに異常があります。
その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

① ネットワークウォークマンをパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。
② データの異常の原因がはっきり分かっている場合（再生期限の過ぎたデータ等）は、SonicStageで削除する。
③ それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageの （戻す）をクリックして、パソコンに戻すことの可能な曲は全てパソコンに戻す。
④ パソコンからはずして、本機のFORMATメニューの操作で“メモリースティック”または内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）する。（46ページ）

ご注意

フォーマット（初期化）をすると、本機以外で“メモリースティック”に記録したデータも削除されます。他のデータも混在している場合は、対応機器でデータの中身を確認してからフォーマットしてください。
詳しくは、SonicStageソフトウェアのオンラインヘルプをご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルメモリースティックオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

最大録音時間

NW-MS70D/MS77DR内蔵フラッシュメモリーのみ使用の場合：

ATRAC3	ATRAC3plus
約4時間10分（132kbps）	約2時間（256kbps）
約5時間20分（105kbps）	約8時間40分（64kbps）
約8時間30分（66kbps）	約11時間40分（48kbps）

NW-MS90D内蔵フラッシュメモリーのみ使用の場合：

ATRAC3	ATRAC3plus
約8時間20分（132kbps）	約4時間（256kbps）
約10時間40分（105kbps）	約17時間20分（64kbps）
約17時間（66kbps）	約23時間20分（48kbps）

“メモリースティック”（64MB）使用の場合：

ATRAC3	ATRAC3plus
約60分（132kbps）	約30分（256kbps）
約80分（105kbps）	約130分（64kbps）
約120分（66kbps）	約170分（48kbps）

“メモリースティック”（128MB）使用の場合：

ATRAC3	ATRAC3plus
約120分（132kbps）	約60分（256kbps）
約160分（105kbps）	約260分（64kbps）
約240分（66kbps）	約350分（48kbps）

サンプリング周波数特性	44.1kHz
再生信号圧縮方式	アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）、アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）
周波数特性	20～20,000Hz（再生時、単信号測定）
出力端子	ヘッドホン：ステレオミニジャック
S/N比	79dB以上（ATRAC3 66kbpsを除く）
ダイナミックレンジ	85dB以上（ATRAC3 66kbpsを除く）
動作温度	5～35°C
電源	• DC IN 1.2V内蔵充電式電池使用 • DC IN 4.5V（ACパワーアダプター使用） • USB電源（付属のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給）
電池持続時間（連続再生時）	ATRAC3形式の場合：約44時間 ATRAC3plus形式の場合：約36時間
最大外形寸法	36.4x48.5x18mm（幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず）
質量	約54g（“メモリースティック　デュオ”含まず）

その他

次ページへつづく

主な仕様（つづき）

付属品	USBクレードル（NW-MS70D/MS90D）（1） 録音USBクレードル（NW-MS77DR）（1） ヘッドホン（1） 専用USB接続ケーブル（1） ACパワーアダプター（付属USBクレードル用）（1） キャリングポーチ（1） ネックストラップ（1） ヘッドホン延長コード（1） イヤーピース（S、Lサイズ）（NW-MS90Dのみ） CD-ROM（1） 取扱説明書（1） ソフトウェアインストール・操作ガイド（1） 保証書（1） カスタマーご登録のお願い（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）
別売アクセサリー	マジックゲート対応 "メモリースティック　デュオ" MSH-M128A（128MB） MSH-M64A（64MB） 光デジタルケーブル 光角形プラグ ⟷ 光ミニプラグ POC-5/10/15AB 光ミニプラグ ⟷ 光ミニプラグ POC-5/10/15B アナログ機器用接続ケーブル ステレオミニプラグ ⟷ ステレオミニプラグ RK-G136 ステレオミニプラグ ⟷ ピンプラグ （X2）RK-G129

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語解説

MagicGate（マジックゲート）

“マジックゲート メモリースティック”に記録するデータの暗号化と、“マジックゲート メモリースティック”対応機器の相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。機器と“メモリースティック”の両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。
マジックゲート対応機器と“マジックゲート メモリースティック”の間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータを“マジックゲート メモリースティック”へ記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、“マジックゲート メモリースティック”と機器が相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

ご注意

MAGICGATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

“マジックゲート メモリースティック”

IC記録メディア“メモリースティック”に著作権保護技術「MagicGate（マジックゲート）」を搭載したもの。音楽などの著作権保護が必要なデータは、“マジックゲート メモリースティック”と「マジックゲート」対応機器（ネットワークウォークマンなど）の組み合わせでのみ記録や再生ができます。“マジックゲート メモリースティック”には、著作権保護が必要なデータだけでなく、その他の“メモリースティック”対応機器のデータを記録することもできます。
“マジックゲート メモリースティック”には「MG」「MAGIC GATE」のロゴがついています。

“メモリースティック”

小型、軽量のIC記録メディア。著作権保護技術「マジックゲート」を搭載した“マジックゲート メモリースティック（MG メモリースティック）”と、搭載していない一般の“メモリースティック”があります。“メモリースティック”対応のAV機器で画像や音楽、音声データを記録したり、パソコンでデータを記録できます。1枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することも可能です。（使用する機器によって、使える機能や扱えるデータの種類は異なります。）例えば、音楽データが入っている“MG メモリースティック”の空き部分に、画像を記録できる機器で画像データを記録することもできます。

“メモリースティック　デュオ”

“メモリースティック”には、標準サイズのものとその小型サイズの“メモリースティック　デュオ”があります。“メモリースティック　デュオ”をメモリースティック　デュオ アダプターに入れると、標準サイズの“メモリースティック”と同じサイズになり、標準サイズの“メモリースティック”対応機器でもお使いいただけます。

その他

次ページへつづく

ソニックステージ
SonicStage
音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

アトラックスリー
ATRAC3
「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

アトラックスリープラス
ATRAC3plus
「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、ATRAC3よりも高い圧縮率で、ATRAC3と同程度あるいは更に高い音質を実現した新しいオーディオ圧縮技術です。

ビットレート
1秒あたりの、情報量を表わす数字のことです。単位はbps（bit per second）。読みかたは、「ビーピーエス」です。例えば、64kbpsは、1秒間に64000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式（ATRAC3plusなど）の比較では、一般的に48kbpsよりも64kbpsの方が良い音で楽しめるということになります。（ATRAC3、MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません。）

メニュー一覧

MENUボタンを押してメニューモードに入り、シャトルスイッチ（回す：選択／押す：決定）で本体の設定を変えます。

詳しくは（ ）内のページをご覧ください。「>」のある表示は、シャトルスイッチで決定後、次の操作画面が現れます。

液晶の表示 （メニューモード）	設定内容
PLAYMODE > （再生モード）	お好みに合わせて再生方法が選べます。（29ページ）
DISPLAY > （ディスプレイ表示）	お好みに合わせて表示モードの切り換えができます。（30ページ）
VOL： （プリセットボリューム）	あらかじめお好みの音量を設定できます。 （36ページ）
SOUND > （デジタルサウンドプリセット）	あらかじめお好みの音質を設定できます。 （32ページ）
BEEP： （確認音の設定）	「ON」または「OFF」に設定できます。（38ページ）
LIGHT： （液晶バックライトの点灯のしかた）	「OFF」：常に消灯 「ON」：ボタン操作後3秒間点灯（38ページ）
TITLE：* （英語／日本語切り換え）	音楽データのアルバム名や曲名の英語／日本語表示切り換えができます。 「TITLE：ENG」：英語 「TITLE：JPN」：日本語 （39ページ）
DATE-TIME （現在時刻の設定）	年月日表示／12時間時計表示ができます。 （35ページ）
PC CLK： （現在時刻の設定：パソコンの内蔵時計に合わせる）	パソコンの内蔵時計に本体の時計を合わせることができます。（34ページ）
USB CHG： （USB接続の充電設定）	USB接続で充電できます。（45ページ）

液晶の表示 （メニューモード）	設定内容
ERASE > （音楽データの消去）	本機内蔵のフラッシュメモリーや本機に挿入したマジックゲート対応“メモリースティック デュオ”（別売り）の音楽データを消去できます。一曲消去／グループ消去が選べます。（43ページ）
FORMAT > （メモリーの初期化）	本機内蔵のフラッシュメモリーや本機に挿入したマジックゲート対応“メモリースティック デュオ”（別売り）のメモリーを初期化できます。（46ページ）
REGROUP > （再グループ化）	グループ機能を元に戻します。（44ページ）
BITRATE： （ビットレートの選択）	お好みに合わせてビットレートが選べます。（41ページ）
REC REMAIN > （残り録音時間の表示）	録音できる残り時間を表示できます。（31ページ）
SYNC： （シンクロ録音の設定）	「ON」：シンクロ録音有効 「OFF」：シンクロ録音無効（40ページ）
EDIT NAME > （曲名の編集）	録音した曲名やグループ名を変更できます。（41ページ）
[RETURN]	[RETURN]を選び、再生／停止ボタンを押して決定すると、通常画面に戻ります。

* 付属のSonicStageでは対応していません。アルバム名や曲名を日本語と英語の両方で入力する機能に対応しています。また、NW-MS77DRは、この操作を行うことができません。

索引

五十音順

アルファベット順

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問**、**故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ(下記電話・FAX番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    ◆セット本体に関するご質問時:
    - 型名:
    - ご相談内容:できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時:
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、「必要な環境を準備する」(別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」)を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル …………0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX ………………………0466-31-2595
受付時間 :月〜金 9:00〜20:00 土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan